



愛 汗 大 志

NANJO CITY

和 中

aikantaishi

Vol. 08号
R7.07.01



Webサイト

◆「美術科」、「国語科」の授業における平和学習の取組

沖縄は今年、戦後80年を迎えます。本校でも平和学習の一環として、美術科の大池主佳教諭の制作した戦争をテーマとした絵画の鑑賞の授業が行われました。主に道徳や総合学習などで取り扱われる「平和学習」を美術の教科からアプローチし、絵画を通し新たな視点から平和について考える授業となりました。

また、国語科では平仲麻紀教諭による「第35回児童生徒の平和メッセージ展 戦後80年」への作品応募を通して、生徒にとって身近にある平和について考える機会となりました。

【1年；菅 朝貴さん】

私は先生のお話もふくめて、青いアゲハチョウの絵がいいなと思いました。なぜなら、茶アゲハチョウも青いアゲハチョウも枯れた葉が落ちているけど、茶のほうは下に向かって？という感じで落ちていて、いろいろな所で暗い印象を受けたけれど、青いアゲハチョウはふんわりとした「もう大丈夫だよ」と言っているような気がして、これから向かってがんばって行くだよと言っているような感じがした。



～平和と戦争について

考えてみよう～



展示物には手を触れないでください

戦後80年



【2年；具志堅 華琉さん】

印象に残った絵は「僕たちは戦争を知らない」の兵隊の人とお母さんと赤ちゃんが一緒に倒れている絵で多分兵隊の人々とお母さんは亡くなってしまっているんだけど、赤ちゃんだけ生き残っている絵なんだろうなと思いました。そしてすぐそばを学徒と思われる人が歩いているけどみんな見ているだけで助けようとはしていないので助けたいけど戦争中は他の人をかまっていられないという理由で、助けられないという葛藤がこの絵にあるんだと感じました。

【3年；親川 愛生さん】

戦時中は、海は炎で赤く染まり、空も爆弾で黒く染まっていたが、本当の沖縄は海も空も真っ青だということを表していると思った。また、太陽が海を照らしていて雲も白いことも沖縄の本来の姿を表していると思った。沖縄戦は人や物に加えて、沖縄の美しい自然も悲惨だっただろうと考えました。沖縄の青くて美しい海と空は沖縄が平和であることのシンボルだと伝えたいと思った。

